

教 育 長 様

研究コース	
B グループ研究B	
校園コード (代表者校園の市費コード)	
752724	
選定番号	248

代表者	校 園 名 :	大阪市立加美中学校
	校園長名 :	谷塚 高雅
	電 話 :	06-6791-5755
	事務職員名 :	町井 緒利恵
申請者	校 園 名 :	大阪市立加美中学校
	職名・名前 :	校長 谷塚 高雅
	電 話 :	06-6791-5755

令和5年度 「がんばる先生支援」研究支援 報告書

◇令和5年度「がんばる先生支援」研究支援について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	新規研究（1年目）
2	研究テーマ	理科の見方・考え方を働かせて、未来を創造する資質・能力を育む理科教育			
3	研究目的	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業・研究発表会などを通して、理科教員の主体的・対話的で深い学びをテーマとした授業改善を図る。 研修会などでの理科教員の学びを、日々の教育実践に生かし、生徒の科学的見方・考え方を育成する。 若手教員の教科指導力の向上に力点を置いたスキルアップ研修を実施する。 小学校教員にも参加を呼びかけ、小中一貫した理科教員の指導力の向上を図る。 評価に対する教員の力量の向上と指導力改善を図る。 			
4	取り組んだ研究内容	<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。 (MSゴシック 9.5ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪市の理科教育の推進のために取り組み、とりわけ経験の浅い教員の指導力向上を目的として様々な取り組みを行った。 今年度も、研究主題を2つのグループで分担し研究を進めた。 8月30日 ブロック研では、ブロックごとに講師を迎え、実験観察研修に取り組んだ。 (1B…大阪市立科学技術センター 2B…天王寺動物園 3B…大阪市立科学館 4B…大阪工業大学研究員による電気分野研修会) 9月16日 生徒理科研究発表会では、夏休みの理科の自由研究課題や部活動（理科部・科学クラブ）の研究課題の研究発表と展示発表を行った。「プレゼンテーションの部」「発明工作の部」「実験・研究の部」の3部門で発表を行い、優秀な作品や発表は大阪市立中学校総合文化祭や大阪府学生科学賞に出展した。 10月11日 全市研究発表会では、堀江中学校の教員による研究授業を事前に撮影・編集・DVD化したものを体育館で視聴する形で進めた。その後、研究協議を実施した。 理科教員観察実習研修 9月 2日「淀川水系－イタセンパラ保全フィールドワーク」 講師：環境省希少野生動植物種保存推進員 河合典彦先生 9月 9日「岐阜県化石調査」講師：大阪工業大学 小山彰先生 11月 5日「二上山－シダ植物めぐり」講師：柏原市立国分中学校 豊田先生 8月6日～8日 全国中学校理科教育研究発表会東京大会へは4名を派遣した。「教育課程」「学習指導・評価」「観察・実験」「環境教育」についての研究発表・研究協議会に参加した。 12月2日 近畿中学校理科教育研究発表会にて、今年度の取り組みについて報告した。 			
5	研究発表等の日程・場所・参加者数	研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。			
	日程	令和 5 年 10 月 11 日	参加者数	約 350 名	
	場所	大阪市立堀江中学校			
	備考				

6	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、申請書に記載した検証方法から得られた結果と、それらからの結果に基づいた考察を、具体的に記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>○授業研究会・授業実践検討会などを通して、教員の授業力・指導力の向上が図れる。</p> <p>『検証方法』</p> <p>理科教員へのアンケート調査を実施し、授業力・指導力の向上に役立ったと肯定的に回答する割合を80%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>肯定的な回答は132/150であり、80%を大きく超えた。小グループに分けて行った研究討議が概ね好評だった。小さい規模での研究討議を今後とも継続したい。内容的にも参考にしたいという意見も多く価値ある研究だったと考える。</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>○生徒の考える力の育成が図れる。 ○生徒の自然の事物・現象への興味や関心が深まり、新たなものを創造する力が育成される。 ○自由研究や科学部等の活動を活発にする。</p> <p>『検証方法』</p> <p>生徒理科研究発表会への応募作品数を増やし、その質も高いとものを目指す。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>大阪市生徒理科研究発表会は、今年度よりSSH推進高校（高槻高校・高津高校）とも連携し、プレゼンテーション部門・発明作品部門・作品展示部門の3つの形式で発表会を行い大盛況だった。合計279作品を集めた。大阪府科学賞へも作品を出品することができた。</p> <p>【見込まれる成果3】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>○実験・観察講習会を実施し、教員の実験観察の技術を高める。</p> <p>『検証方法』</p> <p>理科教員研修参加アンケートを実施し、満足度を評価し、肯定的回答の割合を75%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>「淀川水系－イタセンパラ保全フィールドワーク研修」「二上山－シダ植物めぐり」「岐阜県化石調査」など、様々なパターンで理科教員の研修の場を提供し、教員の実験観察技術や授業力の向上への支援を行うことができた。</p> <p>理科教員研修参加者アンケートにおける、満足度に対する肯定的な回答の割合は100%であった。</p>
---	--

6	成果・課題	【見込まれる成果4】
		<input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上
		〔検証結果と考察〕

	<p>【研究全体を通した成果と課題】 研究発表会等で使用した資料や研究冊子から引用し、端的に記述してください。</p> <p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、研究主題を2つのグループで分担し、研究を進めた。 ・8月30日のブロック研では、各ブロックごとにテーマを決め、教員のニーズに合う実験観察研修を実施した。（B大阪市立科学技術センター 2B天王寺動物園 3B大阪市立科学館 4B大学講師招聘電気分野実験研修会）各会場で、多くの先生方から活発な意見が出るなど、理科教員の授業改善に寄与した。 ・9月16日の生徒理科研究発表会では、夏休みの理科の自由研究課題や部活動（理科部・科学クラブ）の研究課題の研究発表と展示発表を行った。「プレゼンテーションの部」「発明工作の部」「実験・研究の部」の3部門で発表を行い、優秀な作品や発表は大阪市立中学校総合文化祭や大阪府学生科学賞に出演した。生徒の研究への意欲と実験技量の向上や理科教員の指導力向上に役立った。 ・10月11日の全市研究発表会では、堀江中学校の教員による研究授業を事前に撮影・編集したものを体育館で視聴する形で進めた。教材の工夫により生徒たちの主体性を喚起するなど研究テーマに沿った実践発表であった。その後の研究協議でも、ICTの活用方法やさまざまな実験方法について議論が活発に行われた。 ・理科教員観察実習研修では、9月2日「淀川水系－わんど・イタセンパラ保全フィールドワーク研修」9月9日「岐阜県化石調査」11月5日「二上山－シダ植物めぐり」など、理科教員の研修の場を提供し、授業力向上への支援を行った。 ・8月6日～8日の全国中学校理科教育研究発表会東京大会へは4名が参加した。「教育課程」「学習指導・評価」「観察・実験」「環境教育」についての研究発表・研究協議会に参加し、その成果を、全市研究発表会で報告した。 ・12月2日に近畿中学校理科教育研究会にて、今年度の取り組みの成果を報告し、一定の評価を得た。 ・課題としては、野外研修への教員の参加率の向上である。内容を精査や実施時期等を検討していきたい。 <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p> <p>【代表校園長の総評】</p> <p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究は大阪市中学校教育研究会理科部の研究である。 ・今年度も、大阪市の理科教育の推進のために取り組み、とりわけ経験の浅い教員の指導力向上には大いに役立ったと考えている。 ・計画してきた活動内容は予定通り実施しており、その成果報告については、全市教育研究発表会及び大阪府中学校理科研究発表会にて行い、フィードバックを実施済みである。次年度にもこの成果を引き継いでいく。 <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p>
--	--

3. 継続研究（3年目）